



#2 No Japanese Travelers Encountered During the Trip (旅行中に遭遇した日本人はゼロ)

ギリシャに入国して出国するまで一人の日本人とも遭遇しませんでした。私が初めて海外旅行に行った1970年代は、ヨーロッパのどこに行っても日本人と出会わない日はありませんでした。コロナ禍で海外旅行の需要は蒸発したという事情はあるかもしれませんが、その後も回復していないのはどうしてでしょうか。円安を理由に挙げる人は多いと思いますが、決してそれだけが理由ではないと思います。

(参考)

1974年 \$1=¥300 前後(1973年に変動相場制移行)

2025年 \$1=¥144

1974年 東京⇄パリ(経由便) 約20万円

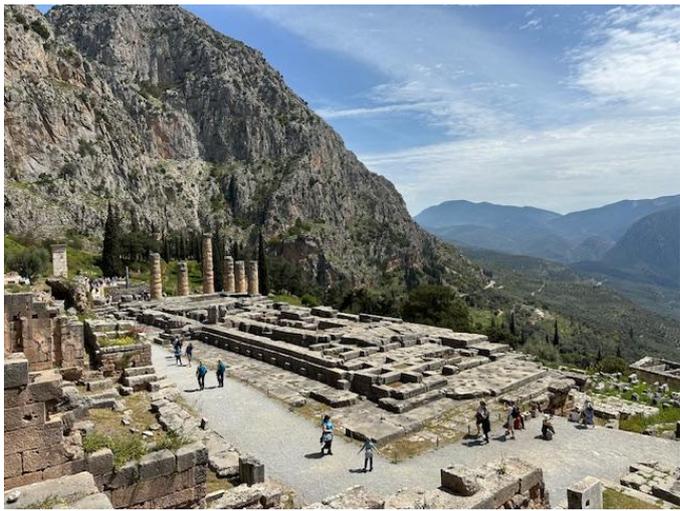
2025年 東京⇄アテネ(経由便) 約13万円

可処分所得が減っていることを例に挙げる人もいるかもしれませんが、自分の肌感覚は少し違います。確かに昔のようにバックパッカーの旅行はしづらくなっているということはあるかもしれませんが。おそらくですが、スマホで必要な情報は得られるし、(物価高とは言え)国内で安くて美味しい世界各国の料理が食べられる現状では、海外に出かけるインセンティブが働かないのが一番の理由のような気がします。

だからと言って現状のままでよいとも思いません。草の根交流という言葉があるように、お互いの文化を知ることは、人々の理解と信頼を深め、真の平和を築くための重要な手段となると信じるからです。特に次の世代を背負う若い人には積極的に海外に出かけて欲しいと強く思います。



ホテルの部屋の窓からパルテノン
(実は 90 度横方向)



デルフィ
(デルフィとメテオラ修道院 1泊2
日観光ツアー1日目)



メテオラ (ツアー2日目)





ギリシャ最後の食事：

タコのグリルと自家製レモネード